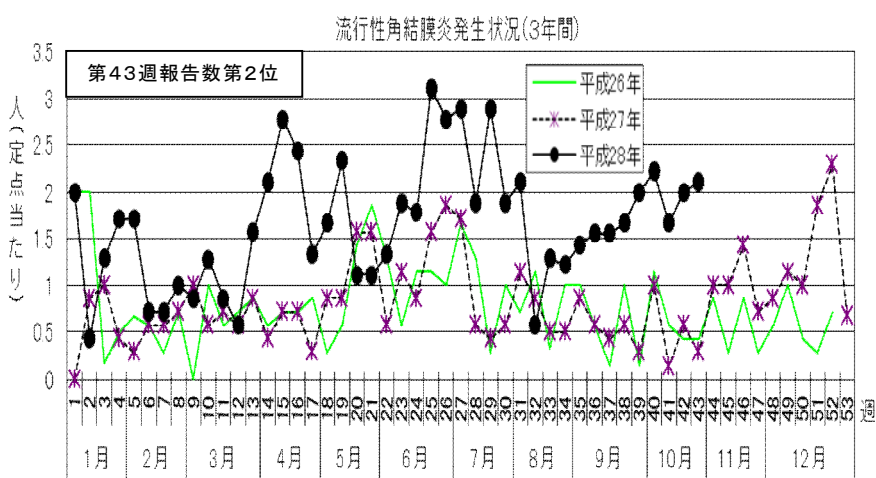
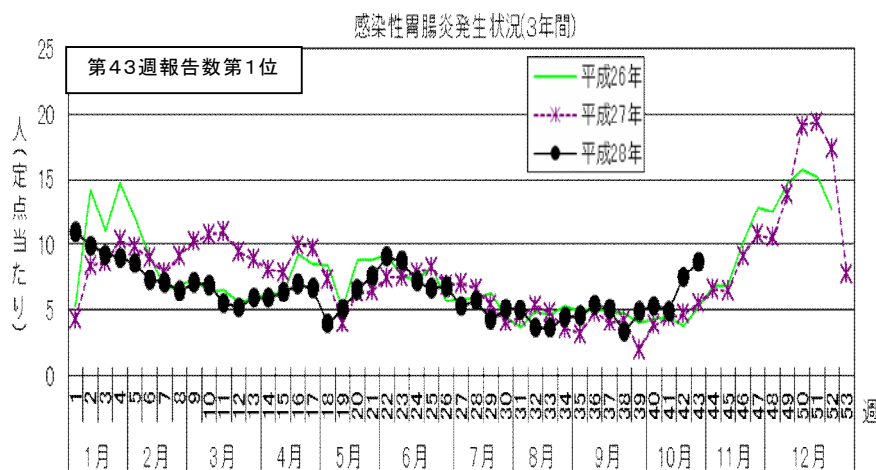


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年10月24日（月）～平成28年10月30日（日）〔平成28年第43週〕の感染症発生状況

第43週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.67人と前週（7.56人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（2.00人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.92人と前週（1.97人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## ～感染性胃腸炎が増えてきました！～

感染性胃腸炎は、例年11月以降に増加がみられます。川崎市でも10月中旬より患者報告数が増えており、第43週（平成28年10月24日～10月30日）の定点当たり報告数は8.67人と2週連続で増加しました。特に川崎区（定点当たり報告数17.60人）からの報告が多くなっています。

主な感染経路は経口感染です。ウイルスや細菌等に汚染された食品や、患者の便・嘔吐物から人の手を介して感染します。感染経路を断つような予防対策が重要です。

### 予防対策

- ・手洗いの徹底
- ・タオルやふきんは清潔なものに交換
- ・貝類や肉類は中心部まで十分加熱
- ・肉類や魚介類等は低温で保存
- ・調理器具は使用后、洗って熱湯消毒
- ・嘔吐物や便は、次亜塩素酸ナトリウムを利用し、適切に処理

